



学校図書館という場所

みなさんは「学校図書館」と「図書室」はどう違うのかわかりますか？

「学校図書館」は、法律の下に定められた正式な名称です。「図書室」といった場合、学校の中に本が集めてある"部屋"を指しますが、場所、メディア、職員、機能すべてを含む名称として「学校図書館」が使用されています。
(全国学校図書館協議会ホームページより引用)

というわけで、これ以下は「図書室」ではなく「**学校図書館**」という言葉を使いますね。

学校図書館には「**読書センター**」「**学習センター**」「**情報センター**」の3つの機能があります。これに加えて最近では、利用者みなさんの「**心の居場所**」にもなることが求められています。

みなさんは「学校図書館」と聞いてどのような場所をイメージしますか？「本を借りる場所」や「静かに本を読む場所」をイメージする人が多いのではないのでしょうか。現在の米工図書館は「読書センター」機能の割合が高いと感じています。今後は「学習センター」や「情報センター」、そして「心の居場所」としてみなさんをしっかりと応援できるように、活動をしていきたいと考えています。学校の中でいちばん楽しい場所、わくわくする場所となることを目指します！

「司書が替わってから新しい本が全然入らないな」と思っている人もいるかもしれません。今回はこの場を借りて、4月に赴任後、私（司書）がどんな仕事をしているのかを説明します。

私は今、「古い本を閉架書庫にしまう」という作業をしています。15年以上前に出版された本は高校生にとっては大昔の本です。すすめても手に取ってもらえることは少ないので、思い切ってしまうと思います。（小説などは残しておく場合もあります。）1軍として残った本のホコリを払い、本棚をきれいに拭き上げ、本を並べ直します。必要に応じて本のラベルを貼り直したり、配架場所を変更したり、パネルサインを作り直したりもしています。今ようやく全体の6割くらいが終わったところです。7月中にはこの作業を終え、夏休みは古い本の廃棄作業をする予定です。これらの作業を終えてようやく、「米工図書館にある本」を大体把握することができます。このあとはすっきりした本棚を見ながら蔵書構成のバランスを考え、必要な本をそろえていきます。（本は今も少しずつ購入していますので、どんどんリクエストを出してくださいね。）

2学期には図書館のホームページを立ち上げる計画もあります。クロームブックやスマホから蔵書検索ができたり、本の予約やリクエストができたりするようなシステムを作るつもりです。ぜひ楽しみにしてください。



「情報センター」化、第1弾！
／映画のチラシを壁一面に貼ってみました！



- 行事予定
- 16日(金)～18日(日)ウエイトリフティング部(中国大会)、演劇部(高校演劇祭)
 - 20日(火)中学校教員対象学校説明会
 - 21日(水)自転車ステッカー点検
 - 22日(木)歯科検診(1年)

